

東部町・北御牧村

TOBU

KITAMIMAKI

第4号

2003年2月17日

合併協議会だより

■編集・発行／東部町・北御牧村合併協議会事務局

〒389-0592 長野県小県郡東部町大字県281番地2(東部町舞台が丘会館内) TEL0268(64)5814 FAX0268(64)5878 <http://www.tk-gappei.jp>

■印刷／東鉄印刷株式会社

- ◎合併協議会 第5回・第6回会議結果…………… 2
- ◎新市将来構想策定委員会 第4回・第5回会議結果…………… 3
- ◎新市名称候補選定小委員会 第2回会議結果…………… 4

- ◎合併かわらばん(合併Q & A)…………… 5
- ◎歴史をたずねて…………… 6

表紙の詳細は6ページ下にあります。



新市名称候補第一次選定結果報告

(4ページから)

合併協議会 第五回・六回会議開催

平成15年1月20日の午後2時から、東部町総合福祉センター講堂で第5回会議が、続いて2月5日の午後2時から、北御牧村役場講堂で、第6回会議が開かれました。

第5回会議の内容

報告事項

新市将来構想策定委員会 第4回会議

1月14日開催（於：北御牧村役場）の新市将来構想策定委員会第4回会議で、新市の基本理念や基本方針など、構想の中核となる部分について議論されたことが報告されました。

協議事項

会計事務の取扱いについて

両町村の役場にある指定金融機関（銀行・JAなど）の派出所の取り扱いを含むこの内容は、住民サービスの低下を招かないよう、新市になってからも庁舎に指定金融機関、または指定代理金融機関の派出所を置くか、それに代わる収納体制を存続させ、指定金融機関等は、合併時に一元化を図り、収納

代理金融機関は郵便局（収納代理郵便官署）も指定する方向で、協議を進めることが確認されました。

電算システムの取扱いについて

住民記録や税金、福祉関係など、多岐にわたる基幹業務系の電算システムについては、東部町のシステムに統合することが確認されました。

病院・診療所の取扱いについて

東部町の「ひまわり病院」、北御牧村の「北御牧村温泉診療所」等の施設については、現施設を継承し、財産は新市に引き継ぎ、組織を一本化することが確認され、診断書などの文書料等で差異のあるものは、料金の低い「ひまわり病院」の料金に一本化することが確認されました。

公営住宅建設事業の取扱いについて

東部町で計画している田中央団地（仮称）、北御牧村で計画している高川原住宅団地・羽毛山住宅団地の建設計画については予定どおり進め、これら以外の合併後における建替え等建設計画は、双方

の総合活用計画をすりあわせて調整することが確認されました。

公共サインの取扱いについて

公共サイン（市町村等が設置する公共施設等の案内看板）は、新市移行に伴い、町村名などの書替え等の作業が生じるため、新市のイメージアップを含めてデザイン統一を図り、デザインの案は、両町村で事前に調整することが確認されました。

屋外広告物の取扱いについて

屋外広告物（看板など）について、両町村で差異のないものは現行のとおりとし、規制地域以外でも、ある程度以上の規模のものを設置する場合は、北御牧村の例により届出を義務付けることが確認されました。

花いっぱい運動の取扱いについて

東部町の例により推進することが確認されました。

上水道企業組織の取扱いについて

両町村の上水道事業は合併後も現行のとおり継続し、組織及び会計は合併時に統合を行うこと、また北御牧村の上水道事業に関する一部事務組合（小諸市外一町二ヶ

村御牧ヶ原水道組合、望月町外1村水道企業団）は、合併後新市として組合の構成団体に加わり、現状を存続する方向で協議することが確認されました。

上水道使用料の取扱いについて

上水道の料金体系・料金額及び徴収方法は、新市発足後も当面の間は現行のとおり継続し、新市において統一に向けた調査研究をすることが確認されました。

上水道送配水管等分担金の取扱いについて

水道の新設・改造工事の際にかかる分担金の区分や金額や、水源対策を目的とした特別分担金の制度については、東部町のものに統一、継承することが確認されました。

第6回会議の内容

報告事項

新市名称候補選定小委員会 第2回会議

1月28日に開催（東部町勤労者会館）された会議では、昨年12月10日から、今年1月10日まで実施された新市名称候補の応募結果を元に、選定協議を行った結果、候補は52作品に絞られたことが報告されました。（詳細は4ページ）

新市将来構想策定委員会 第5回会議

1月30日に行われた会議では、将来構想の原案が決定されたことが報告され、永井靖二委員長から土屋会長へ原案が手渡された。た。

協議事項

農業委員会の委員の定数及び任期の取扱いについて

農業委員の任期については、合併特例法を適用し、新市発足後、1年間に在任として、その定数は26人とすること。また、合併後最初に行われる農業委員の選挙では、旧町村を区域とする2つの選挙区を設け、選挙による委員の定数は20人とすること、農業委員会の選任による委員については、農業委員会等に関する法律等の法令の定めるところにより、農業協同組合各1人、農業共済組合1人、議会推薦5人以内とすることが確認されました。

地方税の取扱い

（その2）について

新市における都市計画区域（現状は東部町の区域にしか設定されていない）にある土地（一部を除く）及び家屋の所有者に都市計画

税を課税し、税率等の課税要件や税金の納期については、東部町のものを継承することが確認されました。

農地流動化助成事業の取扱い

と

**経営体育成特別融資制度
資金利子補給の取扱い**

と

**肉用牛飼育型事業の
取扱いについて**

現在、北御牧村のみにあるこれら農業に関する3つの制度は、新市においても北御牧村の例により継続することが確認されました。

**農業経営基盤強化資金利子
補給制度の取扱いについて**

農業経営基盤強化資金の融資を受けて、経営の規模拡大や効率化を図る農業者の借り入れ金利負担を軽減し、農家の経営安定を図るこの制度については、現行のとおりに継続し、審査機関等は、新市において統合することが確認されました。

**農業近代化資金融資利子
補給制度の取扱いについて**

農業近代化資金の融資を受けて、経営の近代化等を図る農業者の借り入れ金利負担を軽減し、農家経営の近代化を図るこの制度について

では、北御牧村の例（年利1・0%以内・一般貸付は6年以内で、中核的農業者は12年以内の補給期間）により継続し、審査機関等については、新市において統合することが確認されました。

**認定農業者育成推進資金利子
補給制度の取扱いについて**

現在、東部町のみにあるこの制度は、新市においても東部町の例により継続することが確認されました。

**都市計画審議会の
取扱いについて**

都市計画等の決定、変更を審議する都市計画審議会は、新市において設置し、委員については、新市全域から選出、定数は15名以内とすることが確認されました。

**都市計画決定・認可
事務の取扱いについて**

既存の東部都市計画は、新市都市計画に名称を変更し、北御牧村の区域については都市計画区域については指定する方向で基礎調査を実施することが確認されました。

**中小企業各種制度資金の
取扱いについて**

中小企業振興資金や小規模企業事業資金等、商工業に関する制度



第6回会議（北御牧村役場講堂）

**中小企業融資利子補給の
取扱いについて**

利子補給の対象資金については、東部町の例により統一し、補給率については年利0・6%、利子補給の期間は、北御牧村の例により36ヶ月とすることが確認されました。

**次回へ持ち越される
協議事項について**

今回18項目あった協議事項のうち

ち、次の6項目は次回（第7回）会議で協議されます。

- 新市将来構想
- 農林漁業体験実習館等農林業施設の取扱い
- 同和对策農業近代化施設の取扱い
- 土地改良区の取扱い
- BSE（いわゆる狂牛病）対策の取扱い

**新市将来構想策定委員会
第4回・第5回会議**

平成15年1月14日の午後2時から北御牧村役場で開催された第4回目の会議では、今まで議論してきた積み重ねの結果である将来構想第3次原案に基づいて、構想の骨子となる

たうえで、4月以降に決定されます。

新市の基本理念や将来像についての議論が行われました。続く1月30日（於・東部町舞台が丘会館）の第5回会議では、最終の原案としてまとめられました。

この原案は合併協議会へ提案され審議を経た後、3月以降に両町村で各集会ごとに住民懇談会を開催し、皆さんのご意見をお聞きし



第5回会議（東部町舞台が丘会館）

**合併協議会
委員の変更**

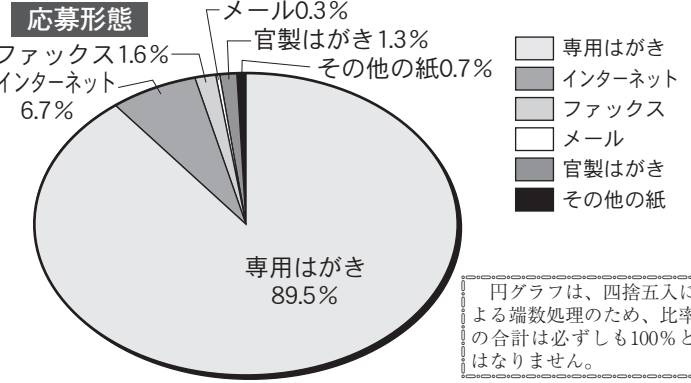
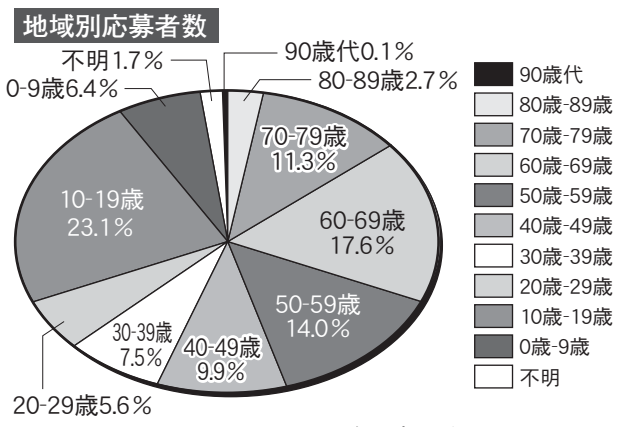
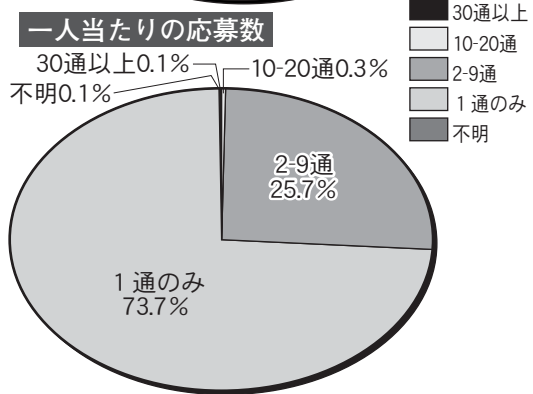
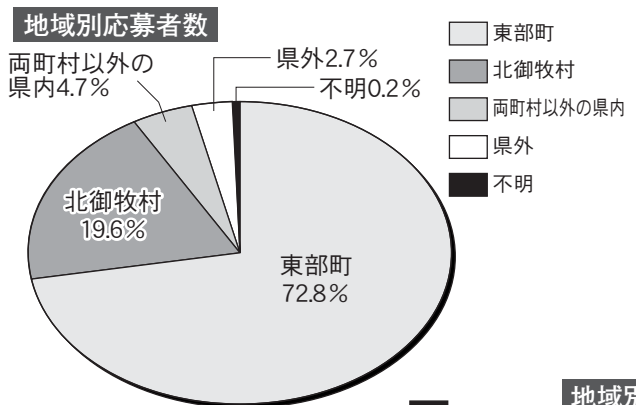
次のおり変更になりました。

新委員	旧委員
(東部町) 柳橋 勝	土屋 静一
田中 金吾	福島 利郎
(北御牧村) 千葉 謙一	赤尾 邦敏

新市名称候補選定小委員会 第2回会議

1月28日の午後2時から、東部町勤労者会館で2回目の会議が開催され、先般実施した新市名称候補の応募結果の報告や、名称候補作品の選定協議が行われました。

応募総数3,126件、1,132種類、2,148名の皆様の応募をいただきました。今回はこの膨大な種類の中から52種類が選定(第1次選定)され、次回会議(2月14日)でさらに候補の絞り込みを行い、2月26日の合併協議会へ提案される予定です。



東部町・北御牧村両町村のみの応募者を合せると、全体の92.4%で、両町村の各小、中、高等学校に応募箱を設置したこと、児童・生徒の応募が多く見受けられ、10代の皆さんは23.1%を占めています。また、50代、60代の皆さんの関心は高いことがわかりますが、20代、30代の関心はやや低くなっています。一人あたりの応募数は、1通がほとんどで、2通以上応募している方が全体の約20%、中には30通以上応募された方もおられました。応募形態は専用のはがきによるものが最も多く約90%、協議会ホームページからのもので、メールによるものを合せて7%という結果となり、この中には少数ですが海外からの応募もありました。

なお、下の表は第1次選定での候補名称一覧です。

円グラフは、四捨五入による端数処理のため、比率の合計は必ずしも100%とはなりません。

第1次選定結果 名称候補一覧表 (50音順)

No.	名称	No.	名称	No.	名称
27	東牧市	11	駒里市	21	東御市
26	東千曲市	10	こまき市	20	東牧市
25	東信州市	9	胡桃市	19	東北市
24	東しなの市	8	くるみ市	18	東部御牧市
23	東信濃市	7	京之牧市	17	東信市
22	東上田市	6	輝未市	16	千曲野市
21	東御市	5	海野市	15	小泉市
20	東牧市	4	浅間市	14	田中市
19	東北市	3	あさま市	13	しなの市
18	東部御牧市	2	あけぼの市	12	滋野市
17	東信市	1	県市	11	駒里市
16	千曲野市			10	こまき市
15	小泉市			9	胡桃市
14	田中市			8	くるみ市
13	しなの市			7	京之牧市
12	滋野市			6	輝未市
11	駒里市			5	海野市
10	こまき市			4	浅間市
9	胡桃市			3	あさま市
8	くるみ市			2	あけぼの市
7	京之牧市			1	県市
6	輝未市				
5	海野市				
4	浅間市				
3	あさま市				
2	あけぼの市				
1	県市				
28	東御牧市	52	雷電市	46	みまき野市
	ヒガシミマキ	51	湯牧市	45	御牧野市
	アズマミマキ	50	湯の丸市	44	美牧市
	ヒダマリ市	49	湯の牧市	43	御牧市
	ヒトカゼノ	48	御和市	42	みまき市
	ヒマワリ	47	御牧野市	41	緑山市
	ヘイワ	46	みまき野市	40	緑市
	ホクトウ	45	御牧野市	39	みどり市
	マキタ	44	御牧野市	38	御東市
	マキタ	43	御牧野市	37	みず市
	マキタ	42	御牧野市	36	美里市
	マキタ	41	御牧野市	35	美駒市
	マキタ	40	御牧野市	34	牧田市
	マキタ	39	御牧野市	33	北東市
	マキタ	38	御牧野市	32	平和市
	マキタ	37	御牧野市	31	ひまわり市
	マキタ	36	御牧野市	30	日と風の市
	マキタ	35	御牧野市	29	ひだまり市
	マキタ	34	御牧野市		
	マキタ	33	御牧野市		
	マキタ	32	御牧野市		
	マキタ	31	御牧野市		
	マキタ	30	御牧野市		
	マキタ	29	御牧野市		
	マキタ	28	御牧野市		
	マキタ	27	御牧野市		
	マキタ	26	御牧野市		
	マキタ	25	御牧野市		
	マキタ	24	御牧野市		
	マキタ	23	御牧野市		
	マキタ	22	御牧野市		
	マキタ	21	御牧野市		
	マキタ	20	御牧野市		
	マキタ	19	御牧野市		
	マキタ	18	御牧野市		
	マキタ	17	御牧野市		
	マキタ	16	御牧野市		
	マキタ	15	御牧野市		
	マキタ	14	御牧野市		
	マキタ	13	御牧野市		
	マキタ	12	御牧野市		
	マキタ	11	御牧野市		
	マキタ	10	御牧野市		
	マキタ	9	御牧野市		
	マキタ	8	御牧野市		
	マキタ	7	御牧野市		
	マキタ	6	御牧野市		
	マキタ	5	御牧野市		
	マキタ	4	御牧野市		
	マキタ	3	御牧野市		
	マキタ	2	御牧野市		
	マキタ	1	御牧野市		

名称選考では、応募のあった名称のうち、「千曲市」とこれに関連する名称が、更埴市・戸倉町・上山田町合併協議会で使用することが先行決定していることから、選定対象外となりました。また、名称のフリガナが無いものや、応募者の連絡先が不明なもの、数字やアルファベットを使った作品なども選定対象外となりました。

両町村の名称に 関する経緯と由来

東部町

経緯

昭和31年、田中町と祿津村そして和村の1町2村が合併する際に、当時の合併協議会で新町名の公募を実施したところ、候補として「千曲町」「高嶺町」「美里町」「久留美町」などの名称があげられましたが、田中町が「田中町」を主張したため、折り合いがつきませんでした。そこで、3町村からそれぞれ1名ずつ命名委員を選出して研究をした結果、「新町名は公募の中から地方事務所長に一任して、各町村の理事者と協議を行い決定を行うが、将来新しい町名が町民・町政の運営にとって支障がある場合は、名称変更の手続きをして、議会の議決を経て変更することに協力する。」という内容の協

議書を取り交わし、地方事務所長により「東部町」と命名され、現在に至っています。

由来

当時の合併した3町村が小県郡の東部に位置していて、経済的・文化的にもブロックを形成していた地域であり、大正末期から4か町村（滋野村も含む）で東部実科中等学校（現・東部高校）を設置していたことから、「東部町」と決定されるに至りました。

北御牧村

経緯

近代的自治制度である「市制町村制」の施行に伴い、明治21年の内務大臣訓令に基づき、全国的に行われた合併、俗にいう「明治の大合併」により、明治22年、当時の八重原村・羽毛山村・布下村・島川原村・大日向村・下之城村の6村が合併し、今日に至りました。当時は「御牧村」と名乗りたいとの希望がありました。南御牧村（現左の浅科村の一部）という村があったこともあり、北御牧村となりました。

由来

現在の北御牧村、望月町、浅科村、立科町そして小諸市の一部を含む御牧ヶ原台地一帯は、平安時代より「望月牧」と呼ばれ、皇室領の牧の一つであり、勅旨牧

合併かわらばん

合併Q&A

将来構想つてのが、イマイチよくわからないのだが。

（ちよくしまき）または「御牧（みまき）」と呼ばれ、中央の役所の管轄下にありました。この勅旨牧で飼育された駿馬は、当時の天皇をはじめとして、皇族や貴族へ

献上されました。北御牧村の地域は、この由緒ある望月牧の北に位置することから名づけられました。

ズバリ、新市の将来ビジョンです。東部町と北御牧村が合併した場合に、将来どのようなまちづくりをしていくか、基本理念や将来像をまとめたものが将来構想です。それを元に、今度は財政計画などを含めた新市の建設の基本方針である「新市まちづくり計画（建設計画）」を策定することになります。まちづくり計画では、将来構想を基本として、「じゃあ新市の道路はどうゆうふうにつくっていくのか？、生涯学習や保健福祉事業はどのように進めていくのか」など、具体的な基本方針が策定されます。

新市の名称は、ある程度候補が絞られてきたら、住民投票で決められるのかな？

新市の名称は、新市名称候補選定小委員会（6名）で5候補まで絞られた後、最終的に2月の合併協議会で提案され、3月の協議会会議で協議される予定です。

この決定方法については、協議会で議論がつかず決定できないような場合、方法の一つとして提案されることも考えられます。

合併するかどうかかわらないのになんで将来構想をつくる必要があるの？

現在の両町村の現状を踏まえない

協議会の会議に出てきた「公共サイン」ってなんでですか？

公共サインの簡単な例としては、役場や文化会館等の施設、あるいは公園や観光名所への案内表示看板とか、河川や道路の表示看板などがあります。目的についても、誘導したり規制を行うもの、また文化財の説明を行うものなどさまざまです。公共サインは街を利用しやすくするための補助的な施設として使われています。

公共サインは、誰にでもわかりやすく、また景観に配慮しながら設置することが大切ですが、うまく使えばまちづくりのイメージアップにもつながります。

公共サインの例



北御牧村の例（八重原）



東部町の例（鞍掛）

歴史をたずねて

その参
筆者 長岡克衛

○池と堰の灌漑

北御牧村の降水量はわずかに年間750ミリ前後です。典型的な台地地形の御牧ヶ原台地や八重原台地に、小さい川はあっても流水量が少ないのです。そこで湧き水や雨水を溜め、池をつくり利用してきました。現在、村内には大小合せて200以上のため池が設置されています。これらの池の土は粘土質で保水力が高く、いったん水を池にためることでより水があたためられ、稲作には大変良く、うまい米の評判を呼ぶ原因の一つとなっています。

また、八重原にある堰の開発は、



八重原堰（北御牧村八重原）
「図説 北御牧村の歴史」から

一方、やはり雨水の少ない東部町、町内を流れる大小の河川では、流れ

○柵場の番小屋

藜科山の中腹の湧き水を延々と約50km以上も引き、台地上の全耕地に灌漑の網の目をかけ、水大将により一糸乱れぬ水統制を図ったのです。



柵場（東部町奈良原）



江戸時代初期の承応2年（1653）までさかのぼります。当時においてのこの世紀的な大土木工事の完成はただ驚嘆です。

このように、この地域は水の恩恵を受けた反面、その維持管理には大変苦勞してきたわけです。

も短く水量も乏しいうえに、南面傾斜の地形では農耕地に十分な水を注ぐことが困難でした。

東部町の烏帽子・三方ヶ峰系は、もともと山が浅く、その谷から流れ出る水は少量です。その乏しい水資源をお互いが奪いあい、時には争いもありました。

奈良原の沢は、沢の水を6対4に分けて、測る柵場が設置されています。それも柵場だけでは十分でなく、それを見張るための水番小屋をつくり、昼夜双方で見張り続けてきたのです。

千曲川・鹿曲川・神川等からの揚水堰は、洪水のたびに堰の取入口の破壊され、耕作者の重い負担になってきていました。

事務局から

**第7回・第8回
合併協議会会議のお知らせ**

第7回
日時 2月26日(水) 午後2時から
場所 東部町総合福祉センター 講堂

第8回
日時 3月18日(火) 午後2時から
場所 北御牧村役場 講堂

備考 会議は公開を原則としており、傍聴することができます。(定員は30名です。)
※ビデオ・カメラ・録音機等の持ち込みはできません。

◇**新市まちづくり計画（将来構想）に関する地元説明会について**

新しい市のまちづくりをどのように行っていくのか？・・・昨年実施した両町村にお住まいの16歳以上の皆さんを対象としたアンケートから、貴重なご意見をいただきながら作成した、新市将来構想の原案が完成しました。前のページにもありますが、合併協議会で了承されれば、3月以降に各町村で地元説明会を開催いたします。日程については現在調整中ですが、決定次第お知らせいたしますので、是非参加していただきますようお願いいたします。

◇**ご意見・お問い合わせについて**

合併協議会では、住民の皆さまのご意見を踏まえながら両町村の合併の検討を行いますので、合併に関するご意見がございましたら、事務局までお寄せください。

東部町・北御牧村合併協議会事務局
〒389-0592 長野県小県郡東部町大字県281番地2 東部町舞台が丘会館内
TEL0268-64-5814 FAX 0268-64-5878 mail: info@tk-gappei.jp



表紙写真 (上) 2/5 新市将来構想策定委員会で決定した将来構想の原案が永井委員長から土屋会長へ手渡された。(左から川上副委員長、永井委員長、土屋会長、岩下副会長)
(下) 1/28 新市名称候補選定小委員会第2回会議で共同記者会見を受ける大塚委員長(左から2人目)と、清水副委員長(一番左)